



ラグビーを始めるということ

ラグビーには目的やプレイヤーの安全を考慮し、また、対象とする年代に合わせて、異なったゲームやルールが用意されています。学校教育でも導入され、幅広い年代を対象にしているタグラグビーや、幼児・児童向けのミニラグビー、中学校年代向けのジュニアラグビーがそれにあたります。

ラグビーは常に、安全に楽しくゲームに参加でき、練習を通じて技術や戦術を成長させつつ、生涯に渡ってスポーツに参加するきっかけとなります。

保護者の皆様へ

ノーサイドの精神について

日本ラグビー界で脈々と「ノーサイド」という言葉と精神が守り続けられてきたことが、ラグビー先進国との関係者から高く評価されています。この「ノーサイド」のすばらしさを子どもたちにぜひ体感させてください。

自分のお子さんや、自分のチームのプレーヤーへの声援はもちろんですが、相手チームのよいプレーについて賞賛してあげてください。

試合に勝つことだけがミニラグビーをプレーする目的ではありません。「全てのプレーヤーに全てのスキルを」を念頭に、ラグビーの魅力を体感できるようにしてください。また、「自らを抑制する謙虚な心と思いやり」をもったプレーヤーを育ててください。

プレーヤーやレフリーへの暴言は厳に慎んでください。また、相手の失敗を嘲笑したり、自分のチームのプレーヤーの失敗を罵ったりすることはあってはなりません。もし、そのような方がいたら、周りの皆さんに注意をしてあげてください。

保護者の皆さんもぜひ、ラグビーのプレーの魅力と文化に触れてみてください。

CORE VALUE

ラグビーのコアバリュー

2009年、ワールドラグビーに加盟する国や地域の協会が協力し、ラグビーの魅力と特徴を表す5つのコアバリューを制定しました。



品位(INTEGRITY)

品位とはゲームの核をなすものであり、誠実さとフェアプレーによって生み出される。

情熱(PASSION)

ラグビーに関わる人々は、ゲームに対する情熱的な熱意を持っている。ラグビーは、興奮を呼び、愛着心を沸かせ、世界中のラグビーファミリーとの一体感を生む。

結束(SOLIDARITY)

ラグビーは、生涯続く友情、絆、チームワーク、そして、文化的、地理的、政治的、宗教的な相違を超えた忠誠心につながる、一つにまとまった精神をもたらす。

規律(DISCIPLINE)

規律は、ゲームに不可欠なものであり、フィールドの内と外の両方において、競技規則、競技に関する規定、そして、ラグビーのコアバリューの順守を通じて示される。

尊重(RESPECT)

チームメイト、相手、マッチオフィシャル、そして、ゲームに参加する人を尊重することは、最も重要である。



公益財団法人 日本ラグビーフットボール協会
〒107-0061 東京都港区北青山2-8-35



保護者向けガイド

はじめてのラグビー!



RUGBY



実感、こどもの成長!
<https://www.rugby-japan.jp>